

# 2021年度(2022年3月期) 通期 決算説明会

2022年 4月 28日  
セイコーエプソン株式会社



## ■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。  
実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。  
なお、業績などに影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

## ■ 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。  
連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

## ■ 本説明資料における表示方法

- 数値：表示単位未満を切り捨て
- 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年号：断りが無い限り、会計年度を示す

- **ご説明のポイント**
- 第4四半期実績
- 2021年度通期実績
- 2022年度通期業績予想・株主還元

- **第4四半期実績(前年同期比)** 売上収益 2,821億円(+41億円)、事業利益 126億円(-31億円)
  - 半導体などの調達難や物流混乱による供給制約がある中、需給バランスに応じた価格対応を実施したものの、部材費・物流費の高騰により、増収・減益
  
- **2021年度 通期実績(前期比)** 売上収益 11,289億円(+1,329億円)、事業利益 896億円(+279億円)
  - 部材調達難・物流混乱による供給制約がある中、COVID-19影響からの市場回復や、継続する在宅印刷需要を捉え増収
  - 部材費・物流費の高騰影響に対して、価格対応や費用コントロールの実施により増益
  - 1/28予想に対しては、需給バランスに応じた価格対応や費用コントロールにより、売上収益は予想並、事業利益は46億円上回る
  
- **2022年度 通期業績予想(前期比)** 売上収益 13,200億円(+1,910億円)、事業利益 1,000億円(+103億円)
  - 物流費など的高騰を見込む中、供給制約の改善に伴う販売数量の増加、収益性を重視するオペレーションの継続により、増収・増益

- ご説明のポイント
- **第4四半期実績**
- 2021年度通期実績
- 2022年度通期業績予想・株主還元

# 2021年度第4四半期決算 | ハイライト

(億円)	2020年度		2021年度		対前年同期	
	Q4実績	%	Q4実績	%	増減額	増減率
売上収益	2,779		2,821		+41	+1.5%
事業利益	157	5.7%	126	4.5%	-31	-19.7%
営業利益	137	4.9%	160	5.7%	+22	+16.4%
税引前利益	151	5.4%	181	6.4%	+30	+20.0%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	106	3.8%	307	10.9%	+201	+189.5%
EPS*1 (円)	30.72		88.94			
為替レート (円、指数)	USD	¥105.86	¥116.21			
	EUR	¥127.68	¥130.45			
	その他通貨*2	100	109			

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
売上収益	+79	+10	+65	+154
事業利益	-18	+6	+30	+18

\*1 EPS:基本的1株当たり当期利益

\*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて  
加重平均した値について、前年同期を100とした指数

# 2021年度第4四半期実績 | プリンティングソリューションズ(1)

プリンティングソリューションズ	2020年度 Q4実績	2021年度 Q4実績
売上収益	1,951	1,990
セグメント利益	272	205
セグメント利益率	14.0%	10.3%

オフィス・ホームプリンティング	2020年度 Q4実績	2021年度 Q4実績
売上収益	1,421	1,490
構成比 オフィス・ホームIJP	85%	89%
SIDM	5%	4%
その他	10%	7%
事業利益	168	165
事業利益率	11.9%	11.1%

(億円)

増減額	内為替 影響額	増減率
+38	+109	+2.0%
-67	+9	-24.6%

増減額	内為替 影響額	増減率
+68	+83	+4.8%
-2	+4	-1.6%

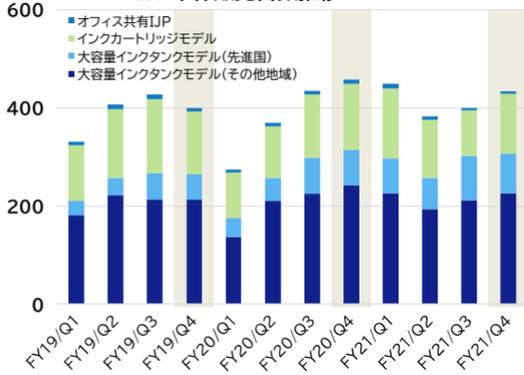
## ■ プリンティングソリューションズ

➢ 供給制約がある中、需給バランスを踏まえた価格対応などで増収、部材費・物流費の高騰などにより減益

## ■ オフィス・ホームプリンティング

- IJP本体は価格対応などにより増収
- IJPインクは、大容量インクボトルとオフィス共有IJPインクの販売増加
- SIDMは供給制約で販売減少
- 部材費・物流費の高騰などにより事業利益は前年同期並

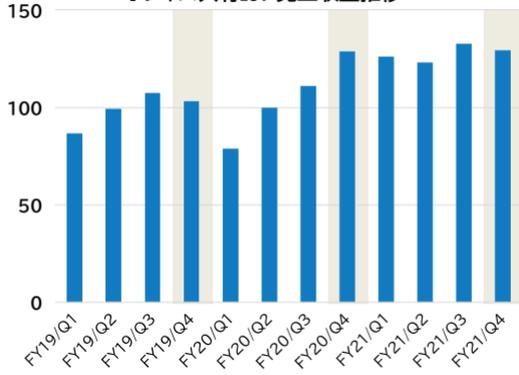
(万台) IJP本体販売台数推移



IJPインク売上収益推移(円貨、前年同期比)



(億円) オフィス共有IJP売上収益推移



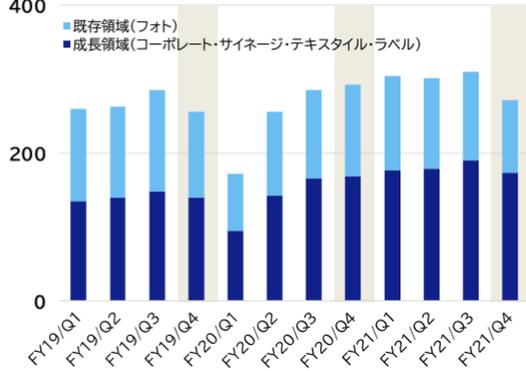
# 2021年度第4四半期実績 | プリンティングソリューションズ(2)

商業・産業プリンティング	2021年度		2020年度		増減率	
	2021年度 Q4実績	2020年度 Q4実績	増減額	内為替 影響額	増減率	増減率
売上収益	530	500	-30	+26	-5.7%	
商業・産業IJP	365	352	-12		-3.5%	
小型プリンター他	165	147	-17		-10.6%	
事業利益	103	39	-64	+5	-62.0%	
事業利益率	19.5%	7.9%				

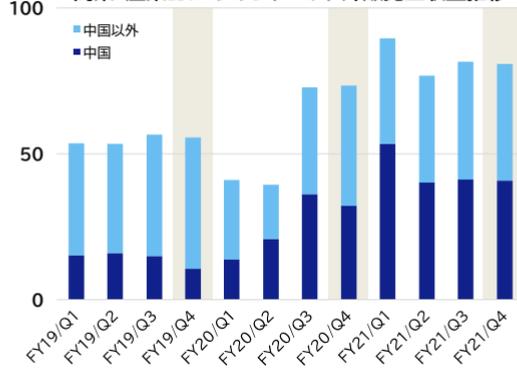
## ■ 商業・産業プリンティング

- 商業・産業IJPは、完成品ビジネスで供給制約により減収。成長領域の販売伸長は限定的。既存領域のフォト用インクで北米大口顧客の特需があった前年同期に対し販売減。成長に向けた費用投下は継続、部材費・物流費の高騰影響
- プリントヘッド外販ビジネスは中国を中心に順調に増加
- 小型プリンターは需要は強いが、供給制約により減収

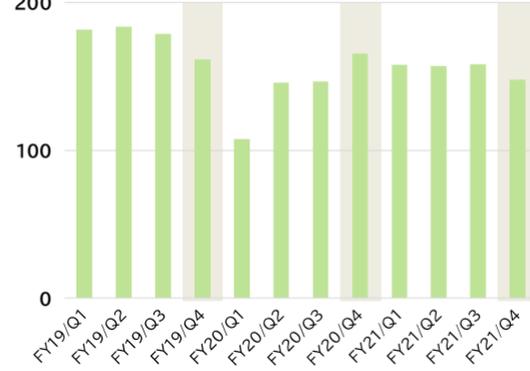
(億円) 商業・産業IJP:完成品ビジネス売上収益推移



(億円) 商業・産業IJP:プリントヘッド外販売上収益推移



(億円) 小型プリンター他売上収益推移



ビジュアルコミュニケーション	(億円)				増減率
	2020年度 Q4実績	2021年度 Q4実績	増減額	内為替 影響額	
売上収益	395	346	-48	+21	-12.3%
セグメント利益	22	21	-0	-1	-4.4%
セグメント利益率	5.6%	6.1%			

### ◆ プロジェクターの販売動向\*1

	2020年度 Q4実績	2021年度 Q4実績
売上収益(円貨)	+4%	-12%
売上収益(現地通貨)	+3%	-17%
販売台数	-6%	-25%

\*1 社内管理値に基づく指標  
伸長率は前年同期比

マニファクチャリング関連 ・ウェアラブル	(億円)				増減率
	2020年度 Q4実績	2021年度 Q4実績	増減額	内為替 影響額	
売上収益	442	491	+49	+24	+11.1%
マニファクチャリングソリューションズ*2	72	72	-0		-0.8%
ウェアラブル機器	71	81	+10		+14.2%
マイクロデバイス他	248	289	+41		+16.6%
PC	56	56	-0		-0.3%
事業間売上収益	-6	-7	-1		-
セグメント利益	7	56	+48	+10	+685.5%
セグメント利益率	1.6%	11.4%			

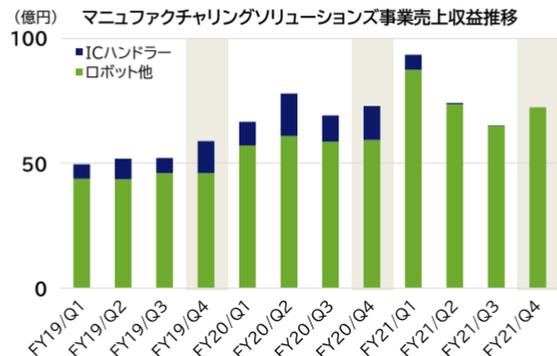
\*2 ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

### ■ ビジュアルコミュニケーション

- 供給制約により販売台数は大幅に減少
- 価格対応や構造改革による費用抑制で収益性改善

### ■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

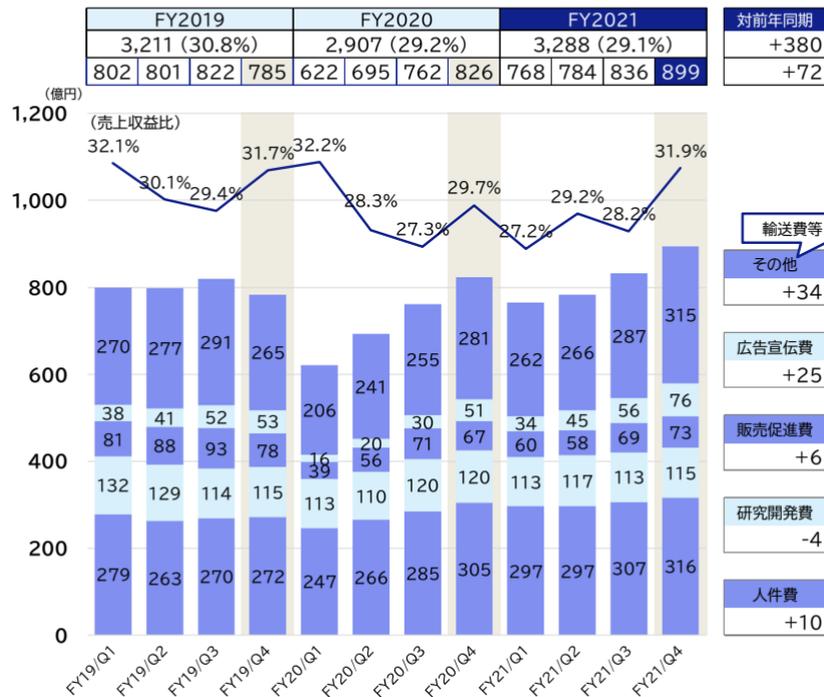
- マイクロデバイス他が好調で増収増益
  - ・マニファクチャリングソリューションズは、ロボットで顧客・用途拡大が継続
  - ・ウェアラブル機器は、高価格品・ムーブメントを中心に増収
  - ・マイクロデバイス他は、旺盛な需要が継続



# 第4四半期実績 | 販売費及び一般管理費推移・事業利益増減要因

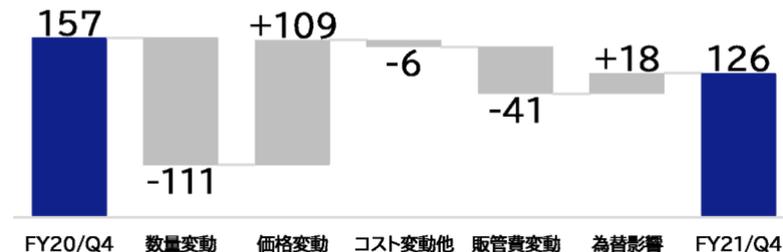
販管費変動：為替影響、大容量インクタンクモデルの認知度向上に向けた広告宣伝費や、輸送費等の増加

## 販売費及び一般管理費推移



## 事業利益の変動要因

(億円)



### 数量変動

- + ロボット、ウォッチ、プリントヘッドなど
- プロジェクター、SIDM、商業・産業IJP・小型プリンターなど

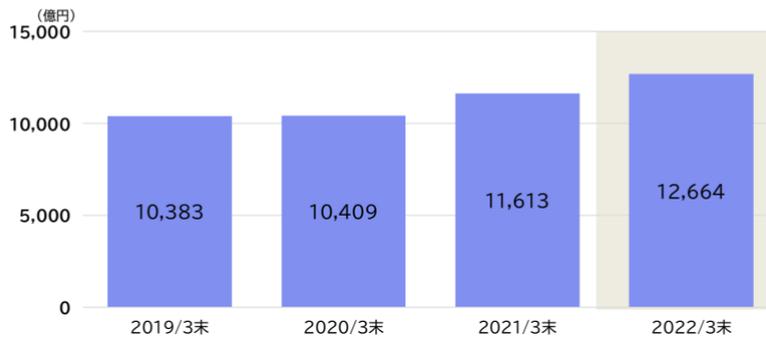
### 価格変動

- + オフィス・ホームIJP、プロジェクター、商業・産業IJP、マイクロデバイス、ウォッチなど
- ロボットなど

### コスト変動他

- + コストダウン、在庫増減影響など
- 部材コスト上昇、物流コスト上昇など

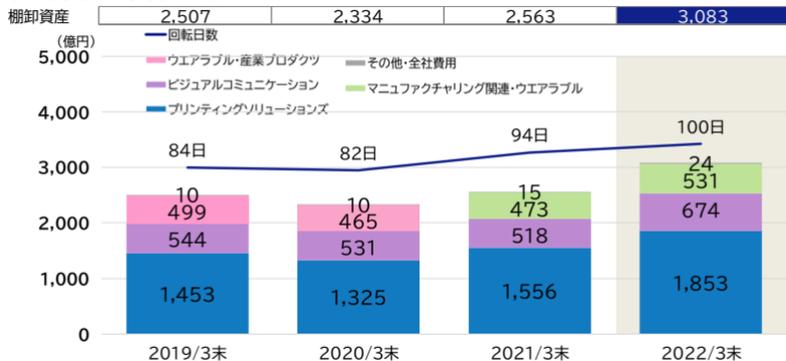
## 資産合計



## 有利子負債・有利子負債依存度



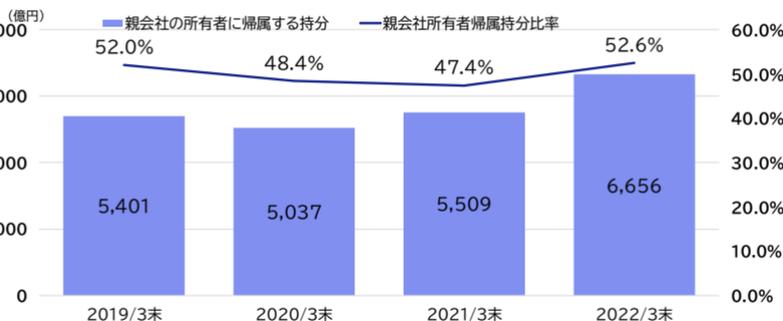
## 棚卸資産・回転日数



## ネットキャッシュ

期末	ネットキャッシュ (億円)
2019/3末	328
2020/3末	-134
2021/3末	380
2022/3末	920

## 親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



\*回転日数(3月末) = 連結会計期間末棚卸資産残高 / 連結会計期間末直前12ヶ月間の1日当たり売上収益

- ご説明のポイント
- 第4四半期実績
- **2021年度通期実績**
- 2022年度通期業績予想・株主還元

# 2021年度通期業績 | ハイライト

	2020年度		2021年度				増減額/増減比		
	(億円)	実績	%	1/28予想	%	実績	%	対前期	対1/28予想
売上収益		9,959		11,300		11,289		+1,329 +13.4%	-10 -0.1%
事業利益		616	6.2%	850	7.5%	896	7.9%	+279 +45.4%	+46 +5.5%
営業利益		476	4.8%	840	7.4%	944	8.4%	+468 +98.3%	+104 +12.5%
税引前利益		449	4.5%	830	7.3%	971	8.6%	+522 +116.2%	+141 +17.1%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		309	3.1%	630	5.6%	922	8.2%	+613 +198.4%	+292 +46.5%
EPS*1(円)		89.38		182.07		266.73			
為替レート (円、指数)	USD	¥106.01		¥112.00		¥112.37			
	EUR	¥123.67		¥130.00		¥130.55			
	その他通貨*2	100		109		110			

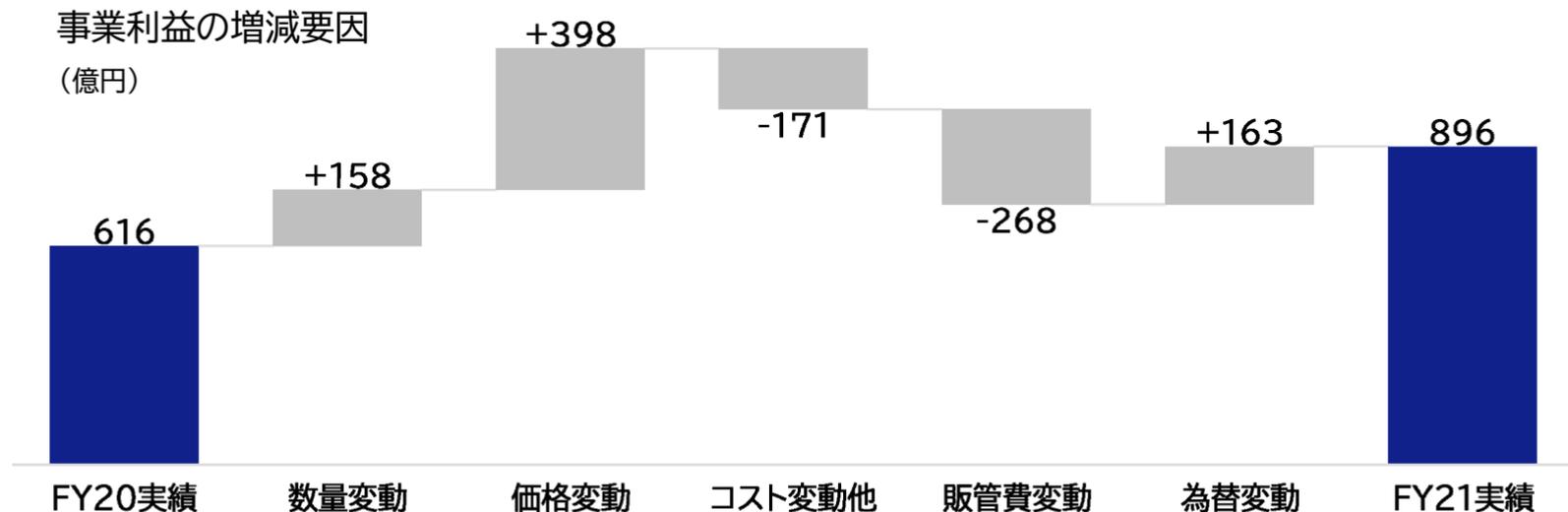
\*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

\*2 その他通貨の各レートを為替ポリュームに応じて加重平均した値について、前期を100とした指数

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
売上収益	+199	+95	+281	+577
事業利益	-43	+61	+146	+163

# 事業利益の増減要因(対 2020年度実績)

- 2021年度は、供給制約により数量のプラスは限定的
- 部材費・物流費などの費用増があったものの、需給バランスに応じた価格対応を実施



プリンティングソリューションズ	(億円)					
	2020年度実績	2021年度1/28予想	2021年度実績	対前期増減額	対前期増減率	対1/28予想
売上収益	6,911	7,820	7,799	+887	+12.8%	-20
セグメント利益	1,062	1,040	1,064	+2	+0.2%	+24
セグメント利益率	15.4%	13.3%	13.7%			

オフィス・ホームプリンティング	(億円)					
	2020年度実績	2021年度1/28予想	2021年度実績	対前期増減額	対前期増減率	対1/28予想
売上収益	5,117	5,690	5,663	+545	+10.7%	-26
構成比 オフィス・ホームIJP	86%	88%	88%			
SIDM	5%	5%	5%			
その他	9%	7%	7%			
事業利益	825	720	730	-94	-11.4%	+10
事業利益率	16.1%	12.7%	12.9%			

商業・産業プリンティング	(億円)					
	2020年度実績	2021年度1/28予想	2021年度実績	対前期増減額	対前期増減率	対1/28予想
売上収益	1,795	2,130	2,136	+341	+19.0%	+6
商業・産業IJP	1,230	1,530	1,515	+285	+23.2%	-14
小型プリンター他	564	600	620	+56	+9.9%	+20
事業利益	236	320	333	+96	+40.9%	+13
事業利益率	13.2%	15.0%	15.6%			

## ■ オフィス・ホームプリンティング

- ・ IJP本体は、供給制約がある中、大容量インクタンクモデル・オフィス共有IJPが販売増加
- ・ インクは売上前期並・安定化。インクカートリッジ減少、大容量インクボトル・オフィス共有IJPインク増加
- ・ 部材費・物流費の大幅なコストアップに対し、需給バランスを踏まえた価格対応・費用抑制を継続

## ■ 商業・産業プリンティング

- ・ 商品ラインアップ拡充で、商業・産業IJPが販売増加
- ・ プリントヘッド外販は中国などで販売拡大
- ・ 将来成長に向けた費用投下は着実に実行

■ 販売動向(社内管理値に基づく指標)		FY20実績	FY21 1/28予想	FY21実績
オフィス・ホームIJP	伸長率	-2%	+12%	+8%
本体販売数量	約、万台	1,540	1,720	1,670
内 大容量インクタンクモデル		1,040	1,200	1,160
内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル		460	490	480
内 オフィス共有IJP		30	30	30
オフィス・ホームIJP	(円貨)	+6%	-3%	-2%
インク売上収益伸長率	(現地通貨)	+7%	-	-6%
オフィス・ホームIJP内				
オフィス共有IJP売上収益比率		9%	10%	10%

ビジュアルコミュニケーション	(億円)					
	2020年度 実績	2021年度 1/28予想	2021年度 実績	対前期 増減額	対前期 増減率	対1/28 予想
売上収益	1,414	1,600	1,590	+175	+12.4%	-9
セグメント利益	13	140	153	+140	+1,038%	+13
セグメント利益率	1.0%	8.8%	9.7%			

◆ プロジェクターの販売動向<sup>\*1</sup>

	2020年度 実績	2021年度 1/28予想	2021年度 実績
販売台数(約、万台)	170	170	170
伸長率	-30%	+3%	+2%

\*1 社内管理値に基づく指標  
伸長率は前年同期比

マニュファクチャリング関連 ・ウェアラブル	(億円)					
	2020年度 実績	2021年度 1/28予想	2021年度 実績	対前期 増減額	対前期 増減率	対1/28 予想
売上収益	1,654	1,900	1,919	+265	+16.0%	+19
マニュファクチャリングソリューションズ <sup>*2</sup>	286	290	305	+18	+6.4%	+15
ウェアラブル機器	281	330	346	+65	+23.1%	+16
マイクロデバイス他	943	1,130	1,109	+165	+17.5%	-20
PC	165	180	189	+24	+14.7%	+9
事業間売上収益	-23	-30	-30	-7	-	-0
セグメント利益	52	210	230	+177	+336.0%	+20
セグメント利益率	3.2%	11.1%	12.0%			

\*2 ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

## ■ ビジュアルコミュニケーション

- 供給制約がある中、COVID-19影響からの回復などにより、高光束プロジェクターやホームプロジェクターを中心に販売増加
- 事業構造改革の進展などにより、収益性が大幅に改善

## ■ マニュファクチャリング関連・ウェアラブル

- マニュファクチャリングソリューションズは、スカルロボットを中心に過去最高台数を販売
- ウェアラブル機器は、事業構造改革の進展などにより、収益性が大幅に改善
- マイクロデバイス他は、旺盛な需要を受け、水晶デバイス・半導体ともに好調

- ご説明のポイント
- 第4四半期実績
- 2021年度通期実績
- **2022年度通期業績予想・株主還元**

# 2022年度通期業績予想 | ハイライト

	2021年度		2022年度		対前期		
	(億円)	実績	%	予想	%	増減比	増減比
売上収益		11,289		13,200		+1,910	+16.9%
事業利益		896	7.9%	1,000	7.6%	+103	+11.6%
営業利益		944	8.4%	960	7.3%	+15	+1.6%
税引前利益		971	8.6%	950	7.2%	-21	-2.2%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		922	8.2%	670	5.1%	-252	-27.4%
EPS* <sup>1</sup> (円)		266.73		193.63			
為替レート (円、指数)	USD	¥112.37		¥121.00			
	EUR	¥130.55		¥132.00			
	その他通貨* <sup>2</sup>	100		109			

\*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

\*2 その他通貨の各レートの為替ボリュームに応じて  
加重平均した値について、前期を100とした指数

\*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額（億円）、  
その他通貨は1%の円高による年間影響額（億円）

為替感応度* <sup>3</sup> (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	年間為替 影響額見込み
売上収益	-32	-14	-35	+650
事業利益	+7	-9	-17	+120

	FY21 下期	FY22 上期	FY22 下期	通期業績予想の前提
需要				<ul style="list-style-type: none"> <li>世界経済は、COVID-19影響から回復が進むも、不透明感は残る</li> <li>在宅印刷の需要は、働き方の変化などにより一定程度定着</li> <li>商品全般で販売チャネルの需要も、在庫水準の正常化に向けて旺盛</li> </ul>
供給制約				<ul style="list-style-type: none"> <li>部材調達難や物流混乱は継続</li> <li>商品設計変更による調達先の複数化、部材・コンテナの長期数量確保などを進め、下期に改善を見込む</li> </ul>
コスト				<ul style="list-style-type: none"> <li>海上輸送費や部材費がさらに高騰</li> </ul>

ロシア・ベラルーシ向け売上収益\*は、通期業績予想には織り込まない  
 企業行動原則に則り、人権尊重の観点からロシアとベラルーシとの取引原則停止(3/9発表)

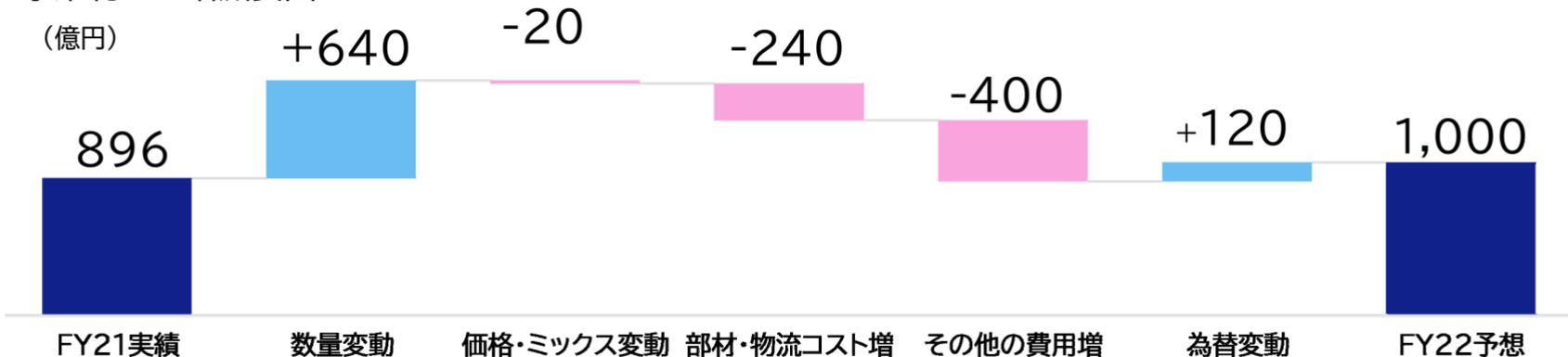
\*2021年度ロシア・ベラルーシ向け売上収益は100億円未満

# 事業利益の増減要因(対 2021年度実績)

- 部材調達難は継続するが、供給制約の解消に向けた対応を進め、販売台数を増加させる
- SOHO・ホームIJPは販売増加に伴い下期に価格低下を見込むが、プロジェクターやマイクロデバイスなどで価格上昇
- 物流・部材コストの増加や販売増加に伴う費用増を織り込む
- 供給数量を確保できない場合は、価格対応・費用コントロールを実施

## 事業利益の増減要因

(億円)



# 2022年度通期業績予想 | プリンティングソリューションズ

(億円)

プリンティングソリューションズ	2021年度 実績	2022年度 予想	対前期
売上収益	7,799	9,160	+1,360
セグメント利益	1,064	1,110	+45
セグメント利益率	13.7%	12.1%	

オフィス・ホームプリンティング	2021年度 実績	2022年度 予想	対前期
売上収益	5,663	6,650	+986
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)	4,453	5,210	+756
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)	511	660	+148
SIDM・その他	698	780	+81
事業利益	730	680	-50
事業利益率	12.9%	10.2%	

商業・産業プリンティング	2021年度 実績	2022年度 予想	対前期
売上収益	2,136	2,510	+373
商業・産業IJP	1,515	1,770	+254
小型P他	620	740	+119
事業利益	333	430	+96
事業利益率	15.6%	17.1%	

## ■ オフィス・ホームプリンティング

- ・ オフィス・ホームIJPが、供給制約の改善による販売数量の増加により、大幅な増収
- ・ 需給バランスを踏まえた価格対応、費用抑制の継続
- ・ インク売上は安定、為替影響もあり増収。大容量インクボトル・オフィス共有IJPインクの販売増加

## ■ 商業・産業プリンティング

- ・ 完成品ビジネス、プリントヘッド外販ビジネスともに、成長加速
- ・ 小型プリンターの供給制約も改善

■ オフィス・ホームIJP販売動向		FY21 実績	FY22 予想	
本体販売数量	伸長率	+8%	+17%	
	約、万台	1,670	1,950	
内 SOHO・ホーム向けIJP 大容量インクタンクモデル		1,160	1,420	
内 SOHO・ホーム向けIJP I/Cモデル		480	490	
内 オフィス共有IJP		30	40	
		(円貨)	-2%	+7%
オフィス・ホームIJP インク売上収益伸長率		(現地通貨)	-6%	-
オフィス・ホームIJP内 オフィス共有IJP売上収益比率		10%	11%	

ビジュアルコミュニケーション	(億円)		対前期
	2021年度 実績	2022年度 予想	
売上収益	1,590	1,840	+249
セグメント利益	153	160	+6
セグメント利益率	9.7%	8.7%	

### ◆ プロジェクターの販売動向<sup>\*1</sup>

	2021年度 実績	2022年度 予想
販売台数(約、万台)	170	190
伸長率	+2%	+10%

<sup>\*1</sup> 社内管理値に基づく指標  
伸長率は前年同期比

マニファクチャリング関連・ウェアラブル	(億円)		対前期
	2021年度 実績	2022年度 予想	
売上収益	1,919	2,220	+300
マニファクチャリングソリューションズ	305	330	+24
ウェアラブル機器	346	340	-6
マイクロデバイス他	1,109	1,380	+270
PC	189	200	+10
事業間売上収益	-30	-30	+0
セグメント利益	230	320	+89
セグメント利益率	12.0%	14.4%	

### ■ ビジュアルコミュニケーション

- 教育向けやスマートプロジェクターの需要が拡大
- 前期の供給制約により生じた受注残の解消も進め、販売台数が増加
- 成熟領域として費用の抑制は継続するものの、物流費・部材費の高騰が負担

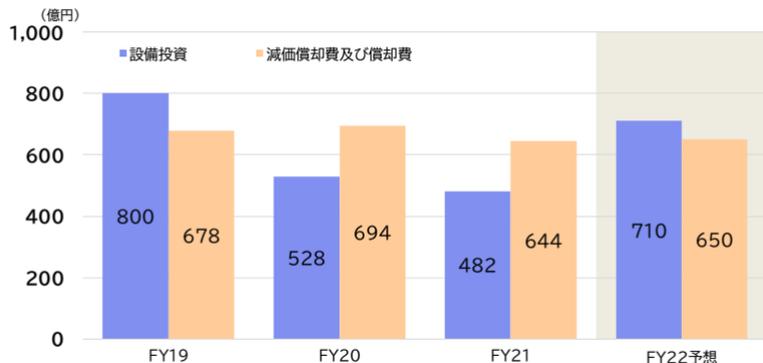
### ■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

- マニファクチャリングソリューションズは、EVやリチウムバッテリーなど成長分野向けで伸長、将来成長に向けた費用投下を継続
- ウェアラブル機器は、収益性の改善に継続的に取り組む
- マイクロデバイス他は、旺盛な需要が継続。半導体の生産性改善や、水晶デバイスで前期に実施した増産投資効果などにより、販売を伸長

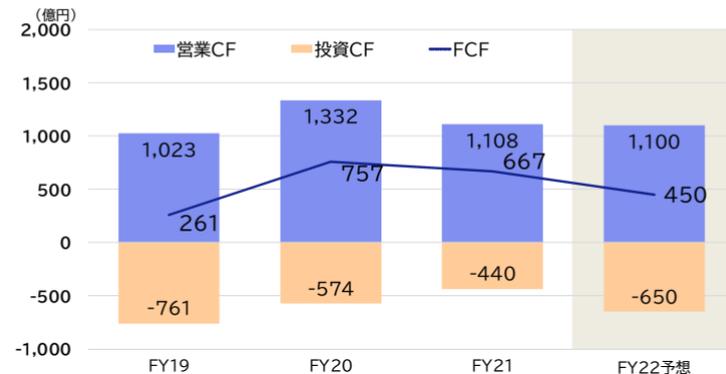
## 研究開発費



## 設備投資・減価償却費及び償却費



## フリー・キャッシュ・フロー



主要経営指標	FY19 実績	FY20 実績	FY21 実績	FY22 予想	FY23 目標	FY25 目標
為替レート:USD	108.74	106.01	112.37	121.00	-	-
為替レート:EUR	120.85	123.67	130.55	132.00	-	-
売上収益 (億円)	10,436	9,959	11,289	13,200	-	-
事業利益 (億円)	408	616	896	1,000	-	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (億円)	77	309	922	670	-	-
ROS <sup>*1</sup>	3.9	6.2	7.9	7.6%	8%以上	10%以上
ROA <sup>*2</sup>	3.9	5.6	7.4	7.9%	-	-
ROE <sup>*3</sup>	1.5	5.9	15.2	10.1%	10%以上	13%以上
ROIC <sup>*4</sup>	4.1	5.6	7.3	7.8%	8%以上	11%以上

\*1 売上収益事業利益率 = 事業利益 / 売上収益

\*2 資産合計事業利益率 = 事業利益 / 期首・期末資産合計平均

\*3 親会社所有者帰属持分当期利益率 = 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均

\*4 投下資本利益率 = 税引後事業利益 / (親会社の所有者に帰属する持分 + 有利子負債)

親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

## ■ 基本方針

- 強固な財務構造の構築と、積極的な利益還元と並行して取り組む
  - ✓ 中期的には連結配当性向\*40%程度を目標
  - ✓ 株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に自己株式を取得

\* 事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出

## ■ 配当実績・予想

- 前年度と同額の1株当たり62円



# Epson 25 Renewed 領域別目標と進捗

成長領域・成熟領域で21年度目標は達成、新領域の目標は未達

	21~23年度	~25年度	2021年度予想	2021年度実績	2022年度予想	
成長領域	オフィスプリンティング 商業・産業プリンティング プリントヘッド外販 生産システム	成長戦略の実現	2020→25年度 売上収益 CAGR <b>+15%</b> 以上	2020→21年度 売上収益CAGR <b>+16%</b> 以上	<b>+22%</b>	2020→22年度 売上収益 CAGR <b>+20%</b>
		プロジェクション ウォッチ	構造改革	2020→25年度 ROS改善 <b>+10</b> pt以上	2020→21年度 ROS改善 <b>+6</b> pt	<b>+13</b> pt
ホームプリンティング マイクロデバイス	収益性維持・向上			継続的に ROS <b>15%</b> 以上	2021年度 ROS <b>17%</b>	<b>20%</b>
成熟領域						
新領域	センシング 環境ビジネス	ビジネス 立ち上げ	2025年度 売上収益 <b>100</b> 億円以上	2021年度 売上収益 <b>20</b> 億円	<b>6</b> 億円	2022年度 売上収益 <b>10</b> 億円
			成長戦略実現			

脱炭素

資源循環

お客様のもとでの  
環境負荷低減

環境技術開発

2021年11月  
国内再生可能  
エネルギー化完了



リサイクル素材の利用

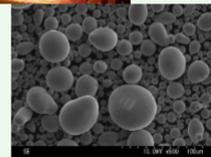


再生材 約**30%**使用\*

印刷性能と  
低消費電力を両立



不要な金属の  
資源化



\* 使用するプラスチック全体の質量に対する比率。再生材の配合率を考慮して質量を算出

緑字:2022年1月以降に選出

- FTSE4Good Index Series : 18年連続
- FTSE Blossom Japan Index(GPIF採用指数) : 5年連続
- **FTSE Blossom Japan Sector Relative Index (GPIF採用指数) : 初選定**
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN) (GPIF採用指数) : 5年連続
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数 (GPIF採用指数) : 4年連続
- SOMPOサステナビリティ・インデックス : 10年連続
- CDP企業調査「Aリスト」企業 (分野:気候変動・水セキュリティ) : 2年連続
- **CDP「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」: 3年連続**
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「プラチナ」: 2年連続
- **日本政策投資銀行(DBJ)環境格付け融資「ランクA」: 初選定**



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan



- Forbes JAPAN「AIが厳選!最強のサステナブル企業100」総合部門1位: 2021年9月
- 第3回日経SDGs経営調査「SDGs経営」総合ランキング最高位: 2021年11月
- 第3回日経SDGs経営大賞「環境価値賞」: 2021年11月
- **第3回ESGファイナンス・アワード・ジャパン 環境サステナブル企業部門「銀賞」: 2022年2月**
- **健康経営銘柄2022(電気機器業界1位)\*: 2022年3月**
- 日経225 : 2017年から選定



\* 健康経営の目的・体制 [https://www.epson.jp/SR/our\\_people/health\\_and\\_productivity.htm#h2\\_02](https://www.epson.jp/SR/our_people/health_and_productivity.htm#h2_02)

ESG  
インデックス  
組み入れ・  
格付け

ESG  
関連表彰・  
銘柄選定

**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION

## 補足資料

---

# 主要製品の販売動向

			FY2020 Q1 実績	FY2020 Q2 実績	FY2020 Q3 実績	FY2020 Q4 実績	FY2020 通期 実績	FY2021 Q1実績	FY2021 Q2実績	FY2021 Q3実績	FY2021 Q4実績	FY2021 通期 実績	FY2022 通期 予想	
*社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比			USD	107.54	106.16	104.48	105.86	106.01	109.46	110.08	113.71	116.21	121.00	
			EUR	118.39	124.10	124.51	127.68	123.67	131.91	129.77	130.08	130.45	132.00	
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホームIJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	-14%	+2%	+17%	+36%	+12%	+85%	+20%	+10%	+10%	+25%	+26%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-8%	+5%	+22%	+37%	+15%	+74%	+14%	+3%	+4%	+18%	-
		本体数量	伸長率	-17%	-9%	+2%	+14%	-2%	+63%	+4%	-8%	-5%	+8%	+17%
		本体数量	万台	-	-	-	-	約1,540	-	-	-	-	約1,670	約1,950
		内 SOHO/ホーム向け 大容量インクタンクモデル	万台	-	-	-	-	約1,040	-	-	-	-	約1,160	約1,420
		内 SOHO・ホーム向け I/Cモデル	万台	-	-	-	-	約460	-	-	-	-	約480	約490
		内 オフィス共有IJP	万台	-	-	-	-	約30	-	-	-	-	約30	約40
	オフィス・ホームIJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比	-	-	-	-	47%	-	-	-	-	41%	37%
		売上収益(円貨)	伸長率	+15%	+7%	+5%	-1%	+6%	-7%	-4%	-2%	+6%	-2%	+7%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+19%	+8%	+6%	-1%	+7%	-11%	-7%	-6%	+1%	-6%	-
	オフィス共有IJP 本体+インク	オフィス・ホームIJP内 売上収益比率	構成比	9%	10%	9%	11%	9%	11%	11%	10%	10%	10%	11%
	SIDM 本体	売上収益(円貨)	伸長率	-43%	-16%	-19%	+28%	-17%	+40%	-20%	-1%	-29%	-6%	-
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-40%	-15%	-18%	+26%	-16%	+30%	-25%	-9%	-35%	-13%	-
本体数量		伸長率	-39%	-16%	-22%	+33%	-16%	+25%	-28%	-18%	-45%	-19%	-	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	-52%	-24%	-13%	+4%	-23%	+72%	+7%	+6%	-12%	+17%	
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-50%	-24%	-12%	+3%	-22%	+60%	+1%	-2%	-17%	+5%	-
		本体数量	伸長率	-57%	-32%	-20%	-6%	-30%	+67%	-2%	-5%	-25%	+2%	+10%
		本体数量	万台	-	-	-	-	約170	-	-	-	-	約170	約190

# 財務データ(2020年度、2021年度、2022年度予想)

		(億円)										
		FY2020 Q1 実績	FY2020 Q2 実績	FY2020 Q3 実績	FY2020 Q4 実績	FY2020 実績	FY2021 Q1 実績	FY2021 Q2 実績	FY2021 Q3 実績	FY2021 Q4 実績	FY2021 実績	FY2022 予想
為替レート (円)	USD	107.54	106.16	104.48	105.86	106.01	109.46	110.08	113.71	116.21	112.37	121.00
	EUR	118.39	124.10	124.51	127.68	123.67	131.91	129.77	130.08	130.45	130.55	132.00
プリンティングソリューションズ	売上収益	1,343	1,663	1,952	1,951	6,911	1,923	1,832	2,053	1,990	7,799	9,160
	セグメント利益	171	216	401	272	1,062	266	283	308	205	1,064	1,110
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,024	1,223	1,448	1,421	5,117	1,371	1,298	1,503	1,490	5,663	6,650
	事業利益	177	172	307	168	825	147	187	229	165	730	680
商業・産業プリンティング	売上収益	319	440	504	530	1,795	551	534	550	500	2,136	2,510
	事業利益	-6	44	94	103	236	119	96	79	39	333	430
ビジュアルコミュニケーション	売上収益	235	376	407	395	1,414	407	399	436	346	1,590	1,840
	セグメント利益	-27	1	17	22	13	44	47	40	21	153	160
マニュファクチャリング関連・ウエアラブル	売上収益	355	424	432	442	1,654	495	458	474	491	1,919	2,220
	セグメント利益	10	15	18	7	52	56	56	61	56	230	320
全社費用・その他、調整額	売上収益	-2	-4	-5	-9	-21	-4	-6	-2	-6	-20	-20
	セグメント利益	-110	-131	-126	-143	-512	-126	-132	-137	-155	-552	-590
連結合計	売上収益	1,932	2,459	2,788	2,779	9,959	2,821	2,684	2,961	2,821	11,289	13,200
	事業利益	43	102	311	157	616	242	254	272	126	896	1,000
	ROS	2.3%	4.2%	11.2%	5.7%	6.2%	8.6%	9.5%	9.2%	4.5%	7.9%	7.6%
研究開発費		113	110	120	120	464	113	117	113	115	460	500
設備投資	プリンティングソリューションズ	44	92	65	70	272	51	60	64	107	284	400
	ビジュアルコミュニケーション	20	27	14	18	80	9	9	9	13	41	60
	マニュファクチャリング関連・ウエアラブル	16	26	18	43	105	14	21	32	45	113	170
	全社費用・その他	7	16	19	26	69	6	9	14	13	43	80
減価償却費	プリンティングソリューションズ	96	94	94	94	380	94	92	94	95	377	390
	ビジュアルコミュニケーション	31	31	33	33	130	26	25	25	25	103	90
	マニュファクチャリング関連・ウエアラブル	26	26	26	23	103	21	21	21	22	87	100
	全社費用・その他	20	20	19	19	79	19	19	19	17	76	70
営業CF		118	336	476	400	1,332	213	349	310	234	1,108	1,100
FCF		-54	174	355	282	757	98	244	213	110	667	450

# 海外売上収益・従業員数

## 海外売上収益

為替レート(円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	106.16	104.48	105.86	109.46	110.08	113.71	116.21
EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	124.10	124.51	127.68	131.91	129.77	130.08	130.45	

売上収益(億円)	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	対前年同期
米州	745	717	712	753	598	719	733	827	852	801	810	862	+34
欧州	479	537	593	529	397	500	587	598	583	571	623	617	+18
アジア・オセアニア	725	758	744	585	495	739	797	749	868	789	844	772	+23
海外売上収益計	1,951	2,014	2,051	1,869	1,490	1,959	2,119	2,175	2,304	2,162	2,278	2,252	+76
連結合計	2,496	2,664	2,798	2,476	1,932	2,459	2,788	2,779	2,821	2,684	2,961	2,821	+41

構成比	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4
米州	29.9%	26.9%	25.5%	30.4%	31.0%	29.3%	26.3%	29.8%	30.2%	29.9%	27.4%	30.6%
欧州	19.2%	20.2%	21.2%	21.4%	20.6%	20.4%	21.1%	21.5%	20.7%	21.3%	21.0%	21.9%
アジア・オセアニア	29.1%	28.5%	26.6%	23.7%	25.6%	30.1%	28.6%	27.0%	30.8%	29.4%	28.5%	27.4%
海外売上収益計	78.2%	75.6%	73.3%	75.5%	77.2%	79.7%	76.0%	78.3%	81.7%	80.6%	76.9%	79.8%

## 従業員数

期末従業員数(人)	2019/6末	2019/9末	2019/12末	2020/3末	2020/6末	2020/9末	2020/12末	2021/3末	2021/6末	2021/9末	2021/12末	2022/3末	対前年同期
国内	19,879	19,825	19,456	19,558	19,962	19,723	19,620	19,470	19,827	19,805	19,788	19,705	+235
海外	58,918	58,914	57,191	56,050	57,107	59,287	62,618	60,474	60,813	60,000	59,917	57,937	-2,537
連結合計	78,797	78,739	76,647	75,608	77,069	79,010	82,238	79,944	80,640	79,805	79,705	77,642	-2,302

# 事業セグメントの変更

変更前(2020年度)

<b>プリンティングソリューションズ</b>
プリンター
オフィス・ホームIJP
大容量インクタンクモデル
SOHO・ホーム向けI/Cモデル
オフィス共有IJP
SIDM
その他
プロフェッショナルプリンティング
商業・産業IJP
小型プリンター他
その他(PC他)
<b>ビジュアルコミュニケーション</b>
<b>ウェアラブル・産業プロダクツ</b>
ウェアラブル機器
ロボティクスソリューションズ
マイクロデバイス他
その他
全社費用

変更後(2021年度)

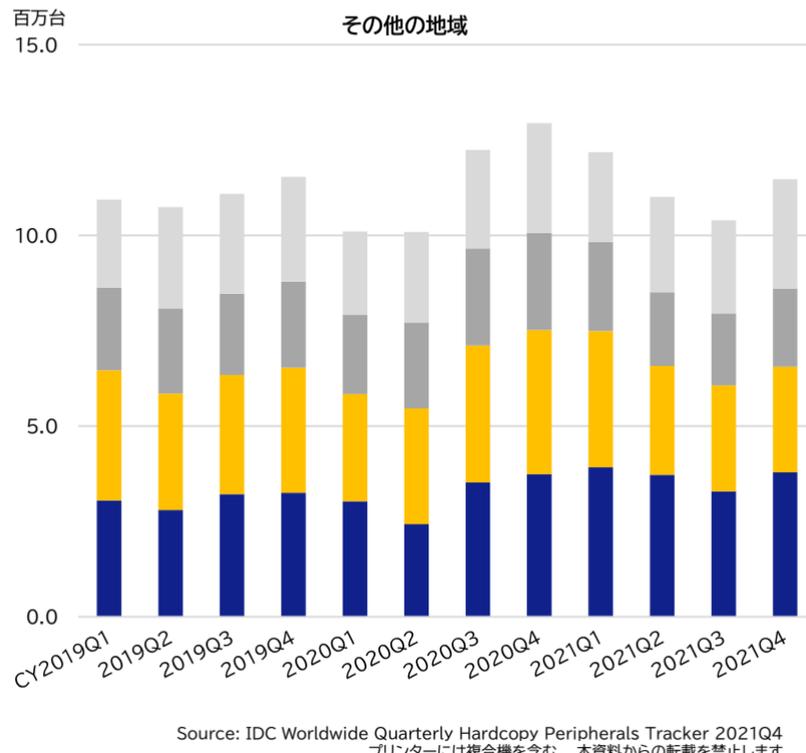
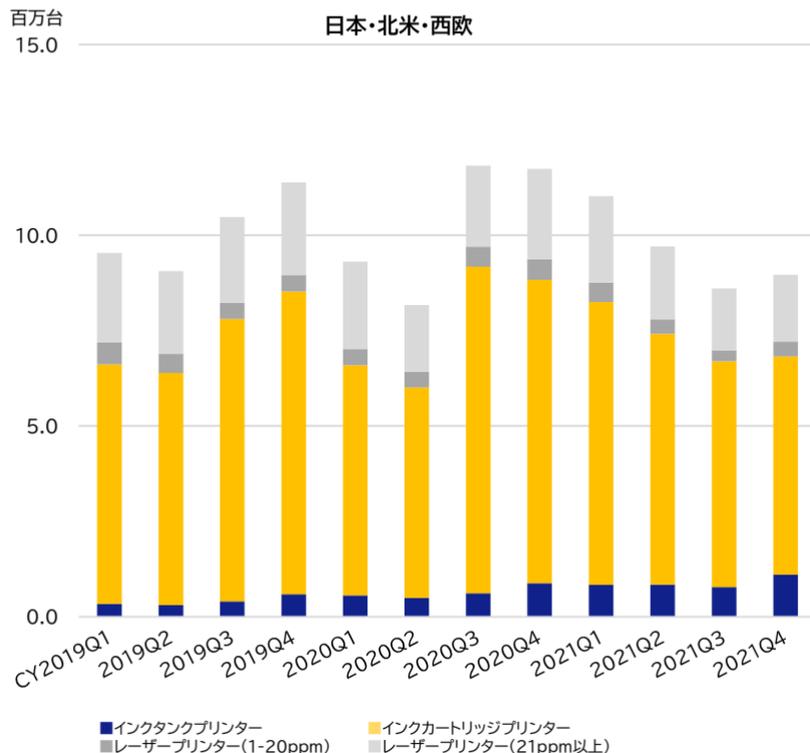
<b>プリンティングソリューションズ</b>
<b>オフィス・ホームプリンティング</b>
オフィス・ホームIJP
大容量インクタンクモデル
SOHO・ホーム向けI/Cモデル
オフィス共有IJP
SIDM
その他
<b>商業・産業プリンティング</b>
商業・産業IJP
小型プリンター他
<b>ビジュアルコミュニケーション</b>
<b>マニファクチャリング関連・ウェアラブル</b>
マニファクチャリングソリューションズ*
ウェアラブル機器
マイクロデバイス他
PC
全社費用・その他



\*全社費用のマニファクチャリング関連商品を、マニファクチャリングソリューションズ事業に移管

イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション		
セグメント	プリンティングソリューションズ		ビジュアル コミュニケーション	マニファクチャリング関連・ウェアラブル			
事業 ・ 主要製品	オフィス・ホームプリンティング	商業・産業プリンティング	プロジェクター	マニファクチャリング ソリューションズ	ウェアラブル機器	マイクロ デバイス他	PC
	<p>オフィス・ホームIJP</p> <p>SOHO・ホーム</p> <p>大容量インクタンクモデル インクカートリッジモデル</p> <p>オフィス共有</p> <p>大容量インクパックモデル (RIPS)</p> <p>高速ラインインクジェット複合機 (L1J)</p> <p>オフィス向けインクカートリッジモデル</p> <p>SIDM</p> <p>スキャナー</p> <p>PaperLab</p> <p>レーザープリンター</p>	<p>商業・産業IJP</p> <p>完成品ビジネス</p> <p>フォト</p> <p>コーポレート</p> <p>サイネージ</p> <p>ラベルプリンター</p> <p>テキスタイル</p> <p>ラベル印刷機</p> <p>プリントヘッド外販ビジネス</p> <p>IJプリントヘッド、インク</p> <p>小型プリンター他</p> <p>小型プリンター</p> <p>小型ラベルプリンター</p>	<p>高光束</p> <p>超短焦点</p> <p>スタンダード</p> <p>ホーム</p> <p>小型 ライティング</p> <p>スマートグラス</p>	<p>ロボット</p> <p>スカラ</p> <p>6軸</p> <p>オプション</p> <p>小型射出成形機</p>	<p>エプソンブランド</p> <p>TRUME</p> <p>オリエント</p> <p>ムーブメント</p> <p>セイコービジネス</p>	<p>マイクロデバイス</p> <p>水晶デバイス</p> <p>半導体</p> <p>微細合金粉末</p> <p>表面処理加工</p>	<p>エプソンドirect PC</p>

## A4サイズプリンターのタイプ別市場推移(暦年)



Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2021Q4  
 プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	商品カテゴリの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル、RIPS、LIJを含む
商業・産業IJP完成品ビジネス	商業・産業用大判インクジェットプリンター本体・インク・サービスなどを含む
プリントヘッド外販ビジネス	プリントヘッド、インクなどを含む
Epson Connect	エプソンの商品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
OLED	Organic Light Emitting Diode(有機EL)
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION